

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年3月28日
学校法人 多摩川学園
認定こども園 多摩川幼稚園

1 本園の教育理念・目標

「おもしろいこといっぱい！」
「あかるく やさしく たくましく」

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

(保育・教育)

- (1) 7年度からの幼保連携型認定こども園への移行に備え、保育・教育を含めた園運営全体の見直しと改革
- (2) こどもの主体性を引き出す保育の推進
*すくわくプログラムの推進・充実
- (3) 保護者への情報発信における IT 化の推進

(職員の資質の向上)

- (1) 教職員の育成（園内研修の充実と外部研修への参加）

(仕事の進め方)

- (1) 働き方の見直し（幼保連携型認定こども園への移行に備えた組織的な連携と IT 機材活用による情報共有と省力化）

3 評価項目の達成及び取り組み状況

(利用者調査集計結果)

詳細は別紙1（利用者調査集計結果）のとおり

今年度は保護者への積極的な協力依頼を行った結果、回答率が 66.5%（前年度は 34.9%）と上昇し、調査結果の信頼性が高まっている。

結果は、18の評価項目のうち、「はい」が90%以上が6項目（前年は11項目）、80%台が8項目（前年は6項目）、70%台が4項目（前年は1項目）、50%以下は無し（前年は無し）となり、一昨年度に近い評価が得られた。

比較的評価が低かった項目等について

(1) 給食について

昨年に引き続き全体の中では一番低い評価となっており、自由記述としても意見が出されている。

(2) 保育時間及び登降園時の安全対策について

相対的に肯定的回答が少なく、「いいえ」が多い項目となった。

(職員自己評価結果)

詳細は別紙2（職員自己評価）のとおり

結果は、12の評価項目のうち、「できている」と「だいたいできている」と肯定的な評価が70%以上が11項目（前年は8項目）、50%台以下が0（前年も0）と全体的に評価は上昇した。

(1) 学校法人としての教育理念、運営方針の理解、実践

肯定的な回答が上昇している。7年度からの幼保連携型認定こども園への移行に合わせて職員に対する情報発信を増やし、意識が高まった結果と考えられる。

(2) 研修参加とスキルアップ

昨年より肯定的な回答が減少しているが、実態としては研修参加の実績は向上している。これは制度的に一定時間の研修が必要な正規職員とそうでないパート職員との認識の違いもあり、問いを丁寧にする必要があったと思われる。

4 総合的な評価結果（自己評価委員会 3月7日開催）

利用者調査の結果からは、例年どおり多くの項目で高い評価を受けており、普段からの保護者とのコミュニケーションや情報発信の成果が出ていると感じられる。一方、給食、安全対策に関しては相対的に評価が低いので、再度内容を精査し対応を行う必要がある。

職員の自己評価については、昨年と比較して評価は高くなっているが、評価の低かった項目については、さらに工夫することで改善する必要がある。

5 今後取り組む課題

（保育・教育について）

(1) 給食について

「弁当箱方式」の制約の中で、食育の充実を含めて、献立、食べ方等について更なる工夫をする。また、そのような取り組みについて保護者に情報発信していく

(2) 保育時間及び登降園時の安全対策について

保育時間中の問題については、入園時に保護者に同意いただいている保育理念、方針として

の「リスクのある遊びの大切さ」について、丁寧に情報発信していくとともに、職員の対応についても確認していく。

登園、降園時の安全対策については、子育て支援事業、課外教室参加者が多いという多摩川幼稚園特有の課題はあるが、7年度前半で正門のセキュリティー強化対策を行う。

(園運営について)

(1) 幼保連携型認定こども園の運営に対する対応

教育・保育内容から労務管理まで広く園の運営にかかわる事項の変更もあるが、見つかった課題に対しては保護者、職員を含めた園全体で対応していく。

(2) 職員研修の充実

今後とも国の求める内容に従い年度の研修計画を定め、各自が勤務の都合に合わせて必要な研修に参加できるようにする。また、園内研修についても更なる充実を図る

6 学校関係者評価委員会の評価 (3月24日開催)

(1) 保護者代表からの評価

- ・職員の自己評価結果については、前年度と同様に認定こども園のマネジメント、保育実践、特別支援教育等に関するスキルアップの項目に回答のばらつきがあるのは、毎年職員の入れ替わりが多いことや、担任によって指導内容が違えることが考えられる。新人の先生への徹底的な指導をマニュアル化して、全保育者がある程度同じレベルの保育をしていただけると保護者はさらに安心してできると思います。
- ・園児や保護者に対して支援が必要な園児との関わり方等特別支援教育に関する丁寧な情報発信が必要と感じます。

(2) その他の学校関係者からの評価

- ・保護者からの回答回収率が向上したことは、多摩川幼稚園に対する保護者の関心度が高まったように感じます。園の運営への評価や家庭からのニーズを把握することにも繋がることから、さらに回答回収率の向上を目指してほしい。
- ・昨年同様、給食、登降園時の安全対策、利用者への対応への回答に大きな変化が見られないが、園として何かしらの対策を講じているのであれば、そのような内容を少しでも園から情報発信することで、家庭からの理解につながるのではないのでしょうか。
- ・職員の自己評価の回答に例年「わからない」の率が高い項目があるが、それは評価する基準が明確でないことが理由と考えられるので、問いの表現等を検討されてはどうでしょうか。
- ・7年度からの幼保連携型認定こども園への移行に伴う0歳児保育、土曜日保育、12時間保育等の園の運営について6年度から先行して対応するには職員全体の努力があり、それも評価されていると思う。7年度はさらに何がどう変わって園が良くなっているのかを保護者や地域の方にしっかり情報発信していくことが重要と思います。

令和6年度 多摩川幼稚園(総合) 利用者調査集計結果

別紙1

回答数 216
対象者数 330
回答率 65.5%

共 通 評 価 項 目		はい		いいえ		どちらともいえない		無回答	
		数	%	数	%	数	%	数	%
1	園での活動は、子どもの教育や心身の発達に役立っているか	211	97.7	1	0.5	4	1.9	0	0
2	園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになって いるか	208	96.3	1	0.5	6	2.8	1	0.5
3	運動や休息の配分は、子どもの発達の状況や在園時間に応じて工 夫されているか	188	87	2	0.9	21	9.7	5	2.3
4	提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	161	74.5	9	4.2	42	19.4	4	1.9
5	園の生活の中で、身近な自然や社会と十分関わっているか（たま がわ戸吹の森等での自然活動を含む）	196	90.7	1	0.5	17	7.9	2	0.9
6	天候その他の事情により保育時間の変更が急きょ必要になった場合、開 園時間内において、園の可能な限り、柔軟に対応されていると思うか	175	81	3	1.4	27	12.5	11	5.1
7	保育時間及び登降園時の安全対策が十分取られていると思うか	158	73.1	13	6	42	19.4	3	1.4
8	園の活動に保護者が参加しやすいよう、工夫されているか	188	87	3	1.4	24	11.1	1	0.5
9	子どもの教育・保育について家庭と園に信頼関係があるか	191	88.4	0	0	23	10.6	2	0.9
10	施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	207	95.8	0	0	7	3.2	2	0.9
11	職員の接遇・態度は適切か	198	91.7	4	1.9	14	6.5	0	0
12	病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	184	85.2	3	1.4	25	11.6	4	1.9
13	子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	166	76.9	3	1.4	36	16.7	11	5.1
14	子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	191	88.4	1	0.5	21	9.7	3	1.4
15	子どもと保護者のプライバシーは守られているか	187	86.6	6	2.8	17	7.9	6	2.8
16	教育・保育内容に関する職員の説明、情報発信は十分にされてい るか	174	80.6	6	2.8	36	16.7	0	0
17	利用者の不満や要望、相談に対応されているか（重要事項説明書 の「相談・苦情対応に関する事項」も参照してください）	166	76.9	6	2.8	35	16.2	9	4.2
18	園内の感染症の発生状況等について適切に情報提供されているか	204	94.4	0	0	10	4.6	2	0.9

令和6年 度自己評価集計結果 (総合)

別紙2

回答数 83

対象者数 97

回答率 85.6%

共 通 評 価 項 目		できている		だいたいできている		できていない		あまりできていない		わからない	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
1	学校法人としての教育理念、運営方針を理解し、実践している	16	19.3	62	74.7	0	0	1	1.2	4	4.8
2	カリキュラム、行事等の企画、計画段階から配慮している	15	18.1	45	54.2	1	1.2	5	6	17	20.5
3	日々の保育において、子ども一人一人の成長に合わせた働きかけを意識している	32	38.6	49	59	0	0	0	0	2	2.4
4	子どもたちがより活発に活動し、コミュニケーションできるよう工夫をしている	28	33.7	50	60.2	0	0	1	1.2	4	4.8
5	保護者がこどもの成長を実感できるよう、保育や行事の内容、様子等の情報提供を工夫している	14	16.9	48	57.8	4	4.8	4	4.8	13	15.7
6	長時間保育児（2号、新2号、3号児）の一日の生活に配慮した保育を行っている	12	14.5	36	43.4	3	3.6	10	12	22	26.5
7	正規、パートを問わず、担当する子どもが関係する職員との情報共有、連携を密にしている	29	34.9	44	53	3	3.6	4	4.8	3	3.6
8	保育室の換気、室温チェック等、感染防止対策も含めた環境整備を行っている	27	32.5	47	56.6	1	1.2	2	2.4	6	7.2
9	室内、教材教具等の清掃、整理整頓を十分実施している	25	30.1	48	57.8	1	1.2	2	2.4	7	8.4
10	認定こども園のマネジメント、保育実践、特別支援教育等に関する研修に参加してスキルアップを図っている	11	13.3	37	44.6	16	19.3	12	14.5	7	8.4
11	各部門グループ毎に、仕事の分担、役割を確認するとともに、情報伝達、共有をしっかりと行い、組織として効率良く仕事を行っている	19	22.9	52	62.7	1	1.2	2	2.4	9	10.8
12	仕事の段取りを予め決めて、IT機材を有効に活用し、無駄な時間を省き、勤務時間内に仕事を終わらせている	15	18.1	44	53	3	3.6	7	8.4	14	16.9